

『国際地域経済研究』第 23 号の刊行にあたって

附属経済研究所長 山本陽子

名古屋市立大学大学院経済学研究科附属経済研究所年報『国際地域経済研究』は2000年3月の創刊以来、今回で23号目の刊行を迎えました。本号では2つの論文を所収しました。1本目の“Optimal Monetary Policy and Inflation Rate Volatility under Local Currency Pricing”では、インフレーションと名目為替レートの変動について分析をしています。2本目の「ピッチング・リサーチを通じた実証研究の発展の可能性について—サーベイと展望—」ではピッチング・リサーチ (Pitching Research) の手法を紹介・解説するとともに、その有用性についての概観をしています。

また、2020年度は公開シンポジウムの開催は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い断念いたしました。2021年度から公開シンポジウムを再開しています。今年度は「マクロ経済政策と地方財政」をテーマに第27回公開シンポジウム(名古屋市立大学大学院経済学研究科・附属経済研究所、日本地方財政学会、名古屋市立大学都市政策研究センターの共催)を令和5(2023)年6月3日(土)にオフラインで開催いたしました。おかげをもちまして大変な盛会となりましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。

末筆ながら今後も経済研究所の活動におきまして、皆様のご支援、ご協力をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。